

令和6年度 志教育全体計画

宮城県石巻北高等学校飯野川校

| | | |
|------|------|------|
| 校 訓 | | |
| 「進取」 | 「自愛」 | 「和協」 |

| |
|--|
| 本校の教育目標 |
| <p>生徒一人ひとりが高い「志」をもって主体的に学校生活を送ることで、自ら未来を切り拓き、たくましく生きていくことができる生徒の育成を目指す。</p> <p>(1) 知識・・・自ら考え、学び続けることのできる生徒。 (2) 情操・・・心豊かで、明るく楽しく、節度ある態度で学校生活を送ることのできる生徒。 (3) 寛容・・・相手の立場を理解し、思いやりの気持ちを持つことのできる生徒。 (4) 社会性・・・社会の中で自ら正しく判断し、行動できる自立心のある生徒。 (5) 根気・・・問題解決に前向きに取り組み、努力し続けることのできる生徒。 (6) 勤労・・・社会で通用する知識や技能を身に付け、望ましい勤労観や職業観を持つことのできる生徒。 (7) 健康・・・心身の鍛錬に努め、健康でたくましく生活できる生徒。</p> |

| | | |
|---|--|---|
| 生徒の実態、教師の願い <ul style="list-style-type: none"> ・素直で優しい生徒が多く、各種行事等では真面目に取り組むことができる。 ・社会の一員として他者を思いやりながら、互いに協力し合うことができる。 ・放課後に就労し、高校生活と両立する生徒が多い。 | 「志教育」の目標 <ul style="list-style-type: none"> ・社会の一員として、自立した生活を送れるようにする。 ・自分の成すべき役割を自覚し、責任をもって事にあたる。 ・正しい職業観と望ましい勤労観の下で、希望する進路を実現する。 | 保護者や地域の願い <ul style="list-style-type: none"> ・学び直しを含めた基礎、基本を習得することにより、確かな学力を身に付ける。 ・地域に根ざした堅実な進路指導の下で、社会参加を実現する。 |
|---|--|---|

| | | |
|---|---|---|
| 重点指導事項 | | |
| 人と「かかわる」 | よりよい生き方を「もとめる」 | 社会での役割を「はたす」 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力を養うため、積極的に周囲の人々との関わりを持つ機会を与える。 ・他者を思いやる気持ちを大切にし、礼儀正しく行動する力を培う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・日々の生活において、何事においても向上心をもって前向きに取り組み、自ら研鑽を積もうとする態度を養う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・常に公共への奉仕の心を忘れず、社会の一員として身に付けておくべき態度や知識、技術を身に付けさせる。 ・社会で実践できるよう、望ましい勤労観、職業観を育成する。 |

| | | | |
|----------------------|---|----------|--|
| 各教育活動における取組の観点 | | 各年次の取組内容 | |
| 各教科 | 教科内容の指導で、社会で必要とされる基礎・基本事項の定着を図り、社会参加に適応できる知識と学び続ける姿勢を身に付けさせる。 | 1年次 | ①新入生オリエンテーション ②進路希望調査 ③地域の産業学習会 ④進路適性検査 ⑤進路学習会 進学先別・職業別ガイダンス |
| 道徳 | 学校の教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養う。 | 2年次 | ①進路希望調査 ②上級学校見学会 ③SPI検査 ④進路学習会 進学先別・職業別ガイダンス |
| 総合的 的な 時間 探 | 地域の産業学習や進路別進路学習を通して、生徒の興味・関心を高め、課題を見付け、自ら学び、問題を解決する資質や態度を養うとともに、主体的に自分の進路を考えさせる。 | 3年次 | ①進路希望調査および保護者との三者面談 ②面接セミナー（三修制） ③就職進学対策進路セミナー（三修制） ④面接週間（三修制） ⑤進路学習会 進学先別・職業別ガイダンス |
| 特別活動 | 学校行事やその他の教科外活動を通し、積極的かつ自主的に物事に取り組む姿勢を促し、社会の一員として生きる力を身に付けさせる。 | 4年次 | ①進路希望調査および保護者との三者面談 ②面接セミナー ③就職進学対策進路セミナー ④面接週間 ⑤社会人セミナー |
| 校外学修 | 美田園高等学校との定通併修や、学校外学修での石巻専修大学との高大接続、石巻高等技術専門校での実習、インターシップ、ボランティア活動、技能講習、学校農園での活動など、地域からの教育効果を積極的に取り入れ、生徒の人間性・社会性を育成する。 | | |

| | |
|---|---|
| 地域・企業との協議 ボランティア的要素を含む教育活動を取り入れ、地域との連携を図ると共に、インターシップなどの体験活動を通して、望ましい勤労観や職業観の育成を図る。 | 家庭との連携 毎月1回の学校公開やPTA活動など保護者と情報交換を行う機会を設け、家庭との意思疎通を図り、家庭と学校の共通理解の下で各指導にあたる。 |
|---|---|